

第6回柳瀬川・空堀川流域連絡会 全体会

議 事 録

日時：平成20年8月26日
於：北多摩北部建設事務所2階会議室

水循環分科会（第8回）・河川環境分科会（第10回） 併催



水循環分科会



河川環境分科会

【開会】

事務局 時間になりましたので第6回柳瀬川空堀川流域連絡会を開催させていただきます。開会に先立ち、先ずお配りしております資料の確認させていただきます。まず次第、次が委員名簿、それから今後のスケジュール、A3版のちょっと大きい横長のもので右肩の上に6月18日と書いてある第6回水循環分科会の時に配布した資料、水循環分科会のまとめ役から配ってほしいと依頼を受けております。それから前回の全体会の議事録、その後ろに前回の全体会以降に開かれました分科会の議事要旨も綴じてあります。1ページから16ページまでが前回の全体会の議事録、その後ろ17ページから水循環分科会の第4回から7回の議事要旨。その次の27ページからが河川環境分科会の議事要旨です。後ほどの分科会の時に参考にしていただければと思います。あとお配りしています資料としては、カラーA4版の西武多摩湖線美住陸橋の上流右岸側のところの昔の護岸と新しい護岸との間に碎石を詰めて水を溜めたという事例の参考資料、これから議題にさせていただきたいのですがマップの作成の叩き台の資料を用意しました。最後に分科会の現地視察の時に出されたご意見等を記載した河川図です。資料は以上です。個々の資料につきましては後ほど順次ご説明させていただきます。

事務局 それでは、全体会という事で本当は座長が進行役なのですが、座長であります工事第二課長が異動になりましたので、変更委員の紹介まで事務局の が進行させていただきます。2番目の資料、委員名簿をご覧いただきたいと思います。都民委員の皆さんには変更はないのですが、行政委員が大分代っております。備考に前任の方を書いてあります。今日は代理の方もいらっしゃいますが、名前を読み上げさせていただきますのでその場でちょっと立っていただければと思います。清瀬市は代わっておりません。東村山市は 委員から 委員に、 委員から 委員に代わりました。東大和市は 委員から 委員に、 委員から 委員に代わりました。武蔵村山市は 委員から 委員に、 委員から 委員に代わりました。あと東京都関係では、多摩環境事務所の 委員が 委員に、河川部の 委員が 委員に代わっております。今日は欠席ですが当事務所の管理課 委員が 委員に、先ほど言いました工事第二課長が から に替わっております。

事務局 基本的には座長も後任者に引継がれるという事で、すいませんけど 課長に座長をお願いして今期を進めさせていただきたいと思います。全体会の進めは座長にお願いする事にして、よろしければこれから2つの分科会に分かれて概ね次第に書かれております3時まで分科会を行っていただきたいと思います。 まとめ役、 まとめ役よろしいでしょうか、よろしく願いいたします。

済みませんご紹介が遅れましたが、全体会の4の(3)でご報告をいただきます東京都土木技術センター技術支援課地下水・基準点情報担当係から、今日は 係長と主任が来てくれましたのでご紹介をさせていただきます。

事務局 長くなって申し訳ありませんでした。それでは二つの分科会に分かれて意見交換をよろしく願いいたします。

【分科会の議事要旨・・・省略】

事務局　それでは全体会を始めさせていただきます。座長の挨拶から、進行を含めまして座長にお願いしたいと思います、よろしくお願ひいたします。

座長　はい。皆様お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。この会の前半各分科会で熱心なご意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは時間もあまりありませんので早速次第に沿いまして、まず分科会活動報告という事で、今日の前半の分科会でまとめた内容について、まとめ役から報告をお願いします。では水循環分科会からお願いします。

団体委員　水循環分科会の　と申します。私の方は今までの活動のまとめとまとめた提言に対してご存じない方もありますので、それをちょっと基本にお話させていただきました。それから新たに水量を確保するのにあたって、幾つかの新しい試みがあったのですが、例えば美住陸橋の斜面を利用した貯留施設とか、そういう所の効果についてお話させていただきました。それからこういうのをしたら今後、工事の際にですね、空堀川の水量が確保できるのか、そういう事についてもお話をさせていただきました。時間もあまり無かったのですが、活発な意見がありまして、一応これからも上流に向かって工事を進めるのにあたって出来るだけ雨水を利用した施設をつくっていただきたいというような事がありました。一応ご報告させていただきます。

座長　では河川環境分科会からよろしくお願ひします。

団体委員　河川環境分科会をまとめさせていただきました　でございます。今期は本当に精力的に北北建の企画と設計図、図面その他の作成をしていただきまして、こんなに川を歩かせていただいた、2年の任期のいままでないように思います。空堀川柳瀬川をずっと歩かせていただいて、河川環境としてどんな問題があるだろうか、問題点、それから良いところ、いろんなところを見ながらこの1年2年を歩かせていただきました。そしてこのような問題点のあるところ、地域とこのように載せさせていただいてまとめていただきました。それで果たしてここにまとめればそれでこの任期が終わってしまうのかという事で、環境分科会としては少なくとも歩いておりました時に、園芸品種の草本だけが植えられて、なかなか木陰を気持ちよく散策するという事の出来ないところ、そういうところがたくさんありました。そういうところにまず今日は、木をこの任期の間にできたら、木を5本でも6本でも植えさせていただく、その場所と致しましてはひとまずすぐにあああそこに植えられるなという場所が東大和、あちらこちらではなくて東大和に植えさせていただいたらという話し合いを今致しました。おそらく河川用地というのは本当に出入りの多いところでございますので、客土もしなければならぬでしょうし、あるいは樹種も選ばなければご近所の皆さんにも納得いただけるような、そういったような樹種、そしてお金のかからない木を植えなければいけないのかなという思いもありますが、どうしたらお金をかけないで植栽をしていけるだろうか、その後の手入れがどうしたらしていけるだろうか。なるべく手入れをしないで済む木というのはどんな木があるだろうか。少しの間にその辺を話し合っ、て、せめて折角歩かせていただいた成果として木を少しでも植えさせていただきたいというのが環境分科会の経過でございます。そしていまひとつは特に清瀬、標高差が多くございますから急な落差工が10も、おそらく一巡で数えまして12、13とあるのではないかと思うのですが、魚が上ることの出来ない落差工を、そのものを削る事は出来ないけれども、魚が上れるような補助台は考えてもいいというありがたい話を頂戴しました。それをこれからのテーマとしまして、これからどんなではそういうもの、かなりいま業者にはそういう良いものが開発されているとは思うのですが、た

だそれが良いというものでもありませんので、少しの会場も含めてこれから勉強会を致しましてそして提案をさせていただきたい、そういう事で一つには皆さんのお手元にもいっていますでしょうか、環境部会、あるいは一緒に全体会でも歩かれた問題点をもう一回見ていただいてそしてここなら、この流域連絡会の中で出来るじゃないというものがありましたら、ひとつ進めていけるような、この会の運営の仕方ですね、実際に少し変えて行く事の出来る、そういう会になっていただけたらありがたいなという思いでまとめさせていただきました。

団体委員 ちょっとすいません。ここにいま事務局から配られた柳瀬川流域河川整備計画というのがあるのですが、これは先ほどの説明の様に平成18年3月に多くの人から、我々も意見を述べたのですが、そういう中で空堀川の20年30年の計画がここに載っているんですね、ここを離れてあまり論議をしたくない、ですから皆さん目を通していただいてですね、なるべくここに書いてある、相当良くまとまっていると思うんです。だから実行するにはやはり流域連絡会が主体となってこれを実行に持っていくようにしていかなければならないと思うんです。それから平成9年に新しい河川法が施行されてもう既に10年経ったんですね、ここには河川環境というのが新しく盛り込まれてきたのですが、どうも聞くところによると空堀川については河川の生態系とか環境については予算がついていないと、それではいくら我々が言っても何もならないのではないかと、そういう思いがするのですが、とにかくここに書いてあることは決まって国が認可した事だからぜひともそういう生態系についても書いてありますのでこれを進めていきたいなと、これは私の思いです。

座長 はい、ありがとうございます。今のまとめについてご質問或いはご意見等があればお話しさせていただきたいと思うのですが、どうでしょう。それからいま委員から柳瀬川空堀川の河川整備計画が出ましたが、この中でも皆さまがご心配している瀬切れ対策についても述べていますので、我々としても空堀川に清らかな流れを復活させるようにできるだけ具体的に検討は進めてまいりたいと思っています。

事務局 続けて3の達磨坂橋付近の地下水状況について、土木技術センターのさんからご報告をしていただきたいと思います。資料を配りますのでちょっと待ってください。ご報告を聞いた後にご希望があれば答えられる範囲内で質問をお受けしていただきたいと思います。では川合さんお願いいたします。

土木技術センター 土木技術センターの です、事務所は江東区の新砂という所にあり、私自身は地盤沈下の関係で地下水の調査などをやっておりました。空堀川の達磨坂橋の下流右岸に東村山観測所があり、観測所をつくる時に何回かお邪魔をしました。つい最近野川との係わりがあり、多摩地域の残堀川、空堀川の水涵れ問題について、何か役に立つことがあるかもしれない、ということで関わりを持たせていただいています。今分科会に参加させていただいたのですが、皆さんずっと前からいろいろなことをやっていたら、今更私達が出てきて何かお話をするのも難しいなあ、という感じがしますが、何か聞いていただいて役に立つことがあればいいのかなと思いますので、よろしくをお願いします。

坐ってお話させていただきます。今日持ってきたのは、先ほどお話しした東村山観測所で観測している地下水位の話と、今後センターとしてどのようなことをやるかというような事をお話したいと思います。後ろの資料は、多分皆さん、もう持っていたらいらっしゃる方もいると思いますが、昭和42、3年頃に下水道をつくるための調査の地下

水面図などです。ではさっそく始めたいと思います。

北多摩地域の河川の流量を確保したいという事で、センターのテーマとしてここ5年くらいやってきました。空堀川は平成17年から始めて、レジメのような経過になっています。平成17年に東村山観測所の構内に浅井戸を掘り観測を始めました。その観測結果が1枚目の東村山(浅井戸)のグラフです。現在も連続して観測していますのでこの後のデータもありますが、こんな感じになっております。また、すぐ近くに武蔵野線が走っていますので、トンネルの位置も書き入れてあります。

空堀川の河床はここで見ますと60.0m、A.PではなくてT.Pになっております、河床と浅層地下水位との関係はこんな感じになります。地下水位は雨が降って、だいぶ上がってはいるのですが、なかなか河床には届いていない状況です。19年は雨がちょっと少なかったので、もう少し雨の多い時には河床に届く可能性があるかと思いますが、こんな状況になっていました。井戸の深さは11.5mのところにあります。ご存じのように、この辺りはずっと砂利層が続いています。後ろに資料がありますが、空堀川沿いには砂利層が20mとか30m続いていますので、その砂利層の上にある、僅かな粘土層とかローム層を掘りぬいてしまうと、すぐに水が漏れていってしまうという際どい状況にあると思います。現実的にはこんな状況で、なかなか河床まで届かない状況ではないかと思えます。

次のページですが、これは今後どうしていこうかということです。平成18年度、地下水観測をやるためには既存井戸をしました。その調査結果です。場所は、北は野塩橋から、南は丸山、大岱小学校あたりまでこんな程度です。残念ながら、この程度しかありません。左岸側は農家もかなりありますので幾つかあるのですが、右岸側についてはなかなか見つかっておりません。勿論、川に近いところではほとんど無いという状況です。それなりの地下水分布を調べるためには観測井戸をつくる事を今後考えないといけないというふうに思っています。なおここに地下水位の数字が書いてありますが、一斉に同時期に測った数字ではありませんので、この数字でコンターなどを書かないようにお願いします。たまたま雨の降った後とか、雨が降っていない時とか、いろいろな状況で測っています。

続きまして1枚めくってください。これは東村山浄水場から柳瀬川合流点付近までのボーリングデータをつなげたものです。次の断面図をご覧頂くと、上部にローム層が若干、川沿いにあるのですが、ちょっと掘り込んでしまうと砂礫層になり、なかなか水位が上がらない、漏れていってしまうというような事がわかります。ですから、この上部だけで処理できる部分があれば一番いいのかなというふうに考えています。

次は昭和42年ごろの地下水面図作成の元になった井戸の分布図です。空堀川沿いにはほんの僅かしかありません。これで、地下水面図をつくったので、かなり大ざっぱにならざるを得ないのかなとは思っています。それでも夏場と冬場の比較はできます。41年8月、夏場の地下水面図を見てください。地下水は等高線に対して直角方向に流れていると考えられますので、川に集まってきている様子が見えるかなと思えます。冬場については、そういう傾向が無くなってきているようです。

3枚目になります、8月の地面からの深さになります。水面までの深さです。空堀川沿いは6mとか7mぐらいになるのでしょうか、冬場になりますともう少し深くなって8mとか12mというようなところも出てきています。

最後の図面は、夏と冬の差分の分布状況です。空堀川沿いについてはそれほど大きな差はないのですが、場所によっては10m以上の差が出るような場所があります。

東村山付近でしょうか、10m、15mというような差があるところもあります。これをどう考えるかという事があります。要するに砂利層がほとんど続きますので、下方への漏れ易さを示しているのではないのでしょうか。夏場、雨の多い時は何とか地下水水面は保っているのですが、雨が少なくなってしまうと下のほうに漏れてしまう、ということだと思います。浅層地下水の帯水層の下位にくる地層の影響を受けているのではないか、という個所が幾つか出ております。

北西 南東方向の方向性がありますが、この特徴は北多摩地域の深いところ地層の分布の特徴でもあります。こういうものの影響もあるのではないかと思います。一応、資料の説明は以上です。最後に今後センターとしてどうしていくかという事ですが、レジユメの一番上になります。北北建からの依頼を受けていますので、それに関わってセンターの方で考えていくという事になります。やる事はオーソドックスな事ですが、既存の井戸で地下水水面図を作りたいと思っています。去年、先ほどの地図の地域をやりましたので、今年はもう少し下流の柳瀬川付近までをやるかと思っています。後は先ほどお見せしたボーリングデータの取りまとめと観測井戸を作りたいと思っています。

先ほどのお話の中で出てきた東村山浄水場のところの観測井戸ですが、測れる井戸があるということですので、測らせていただければありがたいと思います。そういう事をやりまして、浅層地下水水面図を作りたいと思っています。昭和42年ごろよりはもう少し空堀川に近いところ、もう少し細かいのが作れば良いかなとは思っています。これは観測井戸をつくる必要がありますので、予算との関係もあり、どこまで出来るかわかりませんが、そのあたりもやりたいと思っています。後は流量観測です。長期流出特性解析ということですが、これは直接私のセクションではないのですが、河川関係のところがありますので、そこで雨とか川の流量とか河川水位の特性などを解析したいという事でやっています。ここについては現在丸山橋で流量観測をやっていますので、今年は観測井戸をそこで掘りまして、河川水位と河川流量と地下水位の3つのデータをセットにして解析をやればより精度は高くなるかなという事も思っています。データについては何年間か蓄積しないとなかなか解析は難しいところもあるかと思っていますので、今後については長期にわたってデータをとっていきたいと思っています。以上です。よろしくをお願いします。

座 長 ご質問があればお願いいたします。申し訳ございません、私の方からいいですか。ここに柱状図があり、その前に位置図というのがありますが、この柱状図は位置図の赤い線で沿った赤丸とそれから赤の白抜きがありますが、その箇所ですか。

土木技術センター 断面図は赤い線のところのラインです、赤丸と白丸があります。これはボーリングの他に土質データがあるかないかの違いです。

座 長 ちょっと数えてみますと柱状図13本あって、それで赤で塗り潰したものと赤の白抜きの、その数13個だから該当しているのかなと思って質問したのですが。

土木技術センター 失礼しました、説明がちょっと悪かったです。この赤い線の丸の所がそれぞれボーリングの位置になります。

座 長 赤の白抜きと赤で塗り潰した所の位置ですね。

土木技術センター そうです。

座 長 それからこの柱状図なのですが、例えば一番左の柱状図を見た場合は、どこまでがシルトでどこまでがレキなのかちょっと解りづらいですね。ちょっと何か簡単に一通り説明してもらえばありがたいのですが。

土木技術センター 申し訳ありません、これは凡例が良く見えないので。橙色の丸がポツポツなっているのが砂利層です。ラインが幾つかありますが、一番下のラインから下位はほとんど砂利層と考えていただいて結構です。左の一番上の×になっているのは盛土とか埋土というものです。その下は関東ローム層です。この断面線は川沿いにやっていますが、必ずしも河川そのものではなくて、その近くの場合もありますので、ローム層が乗っている部分もあります。左から4番目5番目は多分、空堀川のすぐ脇、あるいは河床かもしれません。シルトあるいは粘土層、腐植土みたいなようなものが入ってきています。ちょっと縮尺が小さすぎて見づらいかと思いますが。一番上の×のところは盛土になります。台地についてはローム層が出てきます、その下に砂利層が出てくる。川沿いについて、河床そのものについては多分ローム層は削られてしまっていると思いますので、沖積の粘土層とか腐植土層とかが出てくるかと思います。一部ローム層が残っている場所があるかもわかりません。

座長 それから済みませんが、一番左側の柱状図で一番上が盛土だと次が関東ローム層で下が砂利だと、関東ローム層はここで2つに色分けされていますが、これはどういう意味ですか。

土木技術センター N値の違いです。

座長 だいたい分かりました。

土木技術センター 元はもう少し大きなものなのですが、ちょっと縮小してしまったものから、見づらくてすみません。

団体委員 その柱状図なのですが、左の方のこの目盛りがありますね、どのように見たらいいのでしょうか。左の一番の方は一番上が盛土でもってその次がローム層で砂利というようにあるのですが、これは。

土木技術センター これは標高になります。一番高いところが8.2mぐらいの高さという事です。東村山浄水場あたりが8.0mぐらい、それで川沿いにだんだん低くなってきまして、柳瀬川合流点あたりになると標高4.0mぐらいでしょうか。

団体委員 そうすると川のその土質というのか、そういうのはどういうふうに理解すればよいのですか。

土木技術センター 川沿いをきちんと選んできているわけではありません。川の中でのボーリングデータとは限りません。ちょっと脇でやっていたりするのがありますので、おおよその傾向という事でご理解いただきたいという事です。

要するに台地部については盛土あるいはローム層があってその下に砂利層が出てくると、川については粘土層とか腐植土層があって、その下に本来の砂利層が出てくるというような地質だという事を大雑把にご理解いただいて、もしも細かい所が必要であれば、また。

団体委員 分かりました。

事務局 これもT.P.

土木技術センター 全部出ている数値はT.P.です。ですからA.P.は補正していただかないといけないので。

団体委員 T.P.というのは海面からの高さですか。

土木技術センター これは海拔ゼロからの数字になっておりますので、これに1.13を加えていただくとA.P.になります。

団体委員 1mですか。

土木技術センター 1.13m、そうです。

事務局 さっきの1枚目の達磨坂橋付近の柱状図、それだと何番目ぐらいの感じですかね。
土木技術センター 何番目といたします。これは具体的な記録をとっていないので、これではちょっと見つからないと思うのですが。青葉町2丁目のあたりです。

事務局 9番目とか10番目くらいでしょうか。

土木技術センター 左から6と7の間あたりです。

事務局 左から6番目から7番目ぐらいのところ、1ページ目を見ると河床の高さが60.6と、T.Pで。引っ張っていくと概ね高さが出てくるかなと。

事務局 これ、河床は地盤より少し低いですよ。周りのものから。

土木技術センター 正確さがちょっとないので。

事務局 今のところ、まず初めに1ページ目、今日のところは達磨坂橋付近の地下水位については、深い方と浅い方とありますが雨が降った後に変動があってもなかなか河床の上まで出てこないですね。今後、川合さんのお話にあったように、既存の井戸の調査だとかいろいろして、合流点付近を含めてもう少しずつデータの蓄積をしていくという事になると思うのですが、自然が相手なものですからなかなか短期間に調べた結果でこうだというのが言いにくい。技術センターとしてもかなり長い期間調査して初めて結論を出すような感じになりますので、概ね傾向としてはこんな感じかなという説明だけであって、これでどうなんだ、これで結論だというのはなかなか言えないというような事だと思うのですが。

土木技術センター 野行橋のすぐ下の所ですが、先ほど、出てきていたというお話ですので、多分こういう形と違った状況があるのだと思います。ですから、これは、観測所のポイントデータというようにお考え頂きたいと思います。ただ大雑把に言って、やはり砂利層があるというのは、結構下に抜けるという意味では状況としては厳しいところというふうに考えております。多分皆さんご存知だと思いますが、昔から空堀川というのは結構水涸れしていた川だということがございますので、それは下の砂利層の影響も大きいというか、そういう環境の中での川だという事は、基本的にはわらないと思っています。

座長 他に無ければ、次の4のマップの作成という事で、事務局お願いします。

事務局 配布してあります資料、カラーの見開きの資料をご覧ください。まとめ役とご相談した結果、ぜひ第4期、今期の間に何かマップをつくってみたらどうでしょうかというお話がありまして、今月の12日に何人かの皆さんにお集まりいただきまして、素案を作っていこうという話がまとまりました。今日は全体会なので概ねこんなイメージというか本当の素案ですがお示しして、いろいろなご意見をお聞きしながら、出来れば12月の中旬ぐらいまでに印刷原稿を作って、それから1ヶ月半ぐらい印刷に時間がかかりますので、出来れば2月始めぐらいまでに仕上げたいというような事で準備を始めたところであります。今後、地域の皆さんからいろいろなご意見をお聞きしながら、流域連絡会としてこのマップをつくっていきたいと思っております。本当にまだ素案ですが、表紙の方から順番にご説明しますと、一応タイトル、表紙ですね。タイトルとして何がいいのかというのがありまして、ご意見を聞きながら進めていきたいということで、取り合えずの案として「歩こう柳瀬川・空堀川マップ憩いと潤いのある川を目指して」というようなものになっています。これは決まりではありませんので、出来れば案をたくさん出していただいて、それで皆さんと相談して決めて行きたいと思っています。その下の写真、4つの市を流れておりますので各市から1枚ずつ載せ

てみましたが、写真でいいのかという事もあると思います。一番下の方に流域連絡会の名前を載せたいと思っています。次に後ろの方で流域で活動している市民団体など、出来れば流連の団体委員の団体をご紹介しますらどうか、どこまでご紹介するのが良いかとは思いますが。その次に流域のイベントカレンダーという事で何月にどういところでこんな催し物をしているよとか、連絡先は何処というように書けば、そういう時に行ってみようという事になると思っています。紙面を考えてどこまで載せられるか分かりませんが。それからちょっと右の方に行きまして柳瀬川空堀川の治水対策と環境の取り組みという事で、お配りしていますが河川の整備計画を策定しておりますのでその辺も紹介したい。それからその下に流域各市さんの取り組みという事で各市さんからこんな事を載せてもらいたいと言うのがあれば、もしかして散策しに行く場合は何処の窓口に聞けば情報を教えてもらえるのか、というような事も含めて市の取組状況とかを載せたらどうかと思っています。その次が一応この流域連絡会の活動という事で、流域連絡会の目的だとか、第一期から現在は第四期になっていますが、こういう活動をしていますという流域連絡会の活動報告、記録的なものをこの辺に載せたらどうだろうと思っています。それから見開きの地図、まだ今日のために事務局でつくったもので、まだまだ素案です。前回集まった委員のご意見を聞きますとイラスト的なマップにして欲しいという事がありますので、こういう基本のベースを元に、解り易くというか、見やすくイラストに仕上げていく必要があります。ただどういう項目をマップに入れていくかという基本につきましては、やはり市民情動的なものですから、委員の皆様にご協力をお願いしたと考えています。東西に長い柳瀬川・空堀川をA4版4枚分に入れる必要がありますので、縮尺に関係なく伸ばしていくのかとかです、いろいろあると思います。あと流域の名所旧跡とか生きものの写真とかです、そういうのをどのように散りばめていくのがいいのか、工夫が必要になってくると思っています。それで、今日のところは何処まで議論していただくのがいいのか、こういうものを載せてもらいたいとか、いろいろあるかもしれないのですが、初めて見た方がこういうのを載せて欲しいと言うのは難しいかもしれないですね。出来ればタイトルの案、載せて欲しいこと、こういうものはいらぬのではないのかというようなものがあつたら、意見交換をしていただければと思います。

座長 何かお気づきの点があればお寄せいただきたいということですか。

事務局 それで、引き続きマップの作成に当たって委員の皆さんに集まっていたいただいて詳細を詰めていきたいとは思っています。説明不足で申し訳ありません。事務作業をしている受託者の から補足説明があればお願いします。

事務局(受託者) 8月12日に有志の方に集まっていたいただいて、その間少し資料もお送りいただきました。事務局から説明がありましたように、こんなイメージのものを作りましょうという事で素案です。皆さんにはこれからワーキング的な会に参加していただいてこのマップを仕上げさせていただきたいと思っています。基本的には地図上にわりと正確にいろいろな観光資源だとか、そういうものをまずは整理したいと思っています。それからそれをイラストに直すというようにしないと、この位置はちょっとおかしいのではというふうになりますので、取り合えず載せてもらいたいとか載せるべきだというものをまず挙げていただいて、それから順次セレクトしていくのが手順としてはいいのかなというように思っています。

座長 どうでしょうか、皆さん、こういった進め方でいいでしょうか。

団体委員 まずですね、行政委員さんも出ているので、行政委員さんはその作成には直接関わ

らないんですよね。出てもらえるかどうかわかりませんが、出てきていただいて作成委員の中に入れていただければいいのですが、そうでなかったら行政としてその地域の、例えば私だったら東村山の担当課長の さんが私の方にこういう事載せようと、そういうふうに言っていたとか、清瀬だったら清瀬の計画とかそういう事で行政の意見を反映していかなければ、反映していった方がいいのではないかなと思うのですがどうでしょうね。

事務局 事務局としては流域連絡会で作る資料なので、当然行政委員も入ってと考えていますが、まずは都民委員の皆さんに概ねのたたき台をちょっと作っていただいて、各市のこういう資料が必要だとか言っていただければ事務局から各市にお願いする、あるいはまた逆に各市からこういうのだけは載せておいて欲しいというのがあればそれを拾って載せてみるというような事でいきたいと思うのですが。

団体委員 それでいま、ここで議論するのは、例えばこの空堀川柳瀬川の川幅を大きくどんとしろとか、そういう事はいいのですか。

事務局 そうですね、マップの方になるとイラストで変わって来るとお思いますので、ここでちょっと気が付くのは橋の名前が入ってないじゃないとか、どのくらい橋を入れるのが良いか、道路名だとか、その他どのくらい入れるのが良いか、かなり細かくなっていく可能性がありますので、できればその辺はワーキング的なもので検討していただければ思っています。

小林委員 メリハリをつけて全部入れなくてもいいのではないですか。

事務局 各市でかなり観光というのか、目玉になるようなものが幾つかあると思うのですが、例えば清瀬市さんは相当たくさんあって紙面をだいぶ使っちゃいました、上流の方や途中が少なくなっちゃいましたとか、いろいろあるかもしれないですね。そういう紙面割りなどの問題を含めて、いろいろ考えながら委員の皆さんと相談しながら進めていきたいなと思っています。押しなべて各市ごとに同じような紙面割りを確保していくというのはなかなか難しいかなと思いますので、その辺は了解をしてもらう以外ないかなと思っています。行政委員の皆さんにしてみると何で自分の市の写真が少なくて他の市ばかりなのかなどと帰った時にいろいろな苦情が出ると、ちょっと問題かなとは思ったりしているのですが。

団体委員 いまひとつで載せて頂いてますがイラストを入れ込んで作りますと全くイメージが変わってきますのでね、ですからこれをたたき台。勿論文字の違いとか、名称ですよ、まだこれたたき台にもちょっと無理かな、ただどれだけ網羅できるかなというものがあるけど、表の、これは皆さんいらっしゃるところで。

事務局 そうですね、今日のところは出来ればタイトル、ちょっと案として出しているのですが、どちらかというと散策、PR 目的で作るのかなという気はしているのですが。タイトルで良い案があったら出していただきまして、今日ではなくてもいいのですが、思いついたのがあれば出していただいて次の分科会とかそういう時にご意見を伺いながら、両方の分科会で意見が違った場合にはまとめ役の皆さんに一任して最終案をまとめるとか、そんなふうにしていったらどうかなと思うのですが。

都民委員 だったら体裁とか、何か決めておかないと、ルール的に決めておかないとそれこそどこかが多くなっちゃって入らない、そういう問題が出てくるのではないですか。

団体委員 どのくらい資料が必要ですか。ここもかなりもう入れていただいているのですが、清瀬は清瀬としてもちょっと出させて頂いているのですが、ほぼ出揃っていますかね。

事務局 まだほとんど出てきていないです。

都民委員 よろしいですか。ですからどういう形にするか、これはたたき台でしょうけれども、大きさとかこういう折り方なのかとか、それから全体マップと部分マップというような形にするのか。いまルールの話がありましたが大まかなそういうね、それから流域の何処まで入れるのか、河川だけといっても河川の周りに具合良くいろいろある所と無い所と、ちょっと離れてという事になるとですね、やはり流域をちょっと広げなければいけないですね。それによって採用される数というふうになると、役所の位置も入れるのか入れないのか、それが河川とはなれているとかね、いろいろあると思うんですよ。だから最終的にあれですね、もしもイラストに落とすとするとそういう縮尺が変わっちゃいますからね、だから一旦は確かにね、実寸で入れて、どういう領域まで取り込むのかとか、それから全体図を入れるとすれば実寸で小さく入れる作業をしてイラストでも、やるにしてもおよそ全体図と対照しながら見れば解るようにして行ってね。それからこの折り方も要するにブックに近い格好にするのか、要するにポケットに入れて持ち歩くようにするのかどうするのかというね、もう一度ちょっとやらないと、グランドデザインを統一するには決めてやっていかないと、随分変わってきてしまうような気がしますね。だからどうですかね、もしも流域を手で持って歩くという事になると、どういう形がいいかですね。そういう事もちょっと。最終的にこの大きさを考えるのか。そんな気がしますね。

事務局 今日のところは、事務局としてはこういうような折り方なり大きさを考えていると言う素案です。本当はもっと小さい方が持ち運びに便利だとかですね、この倍の大きさでつくっているマップもあったりします。ただ予算の関係もあってですね、一番まあ説明しやすい、A4版のこういう見開きのものでどうかと思っています。小さくて折りがたくさん入ってくると印刷費が高くなるものですから、出来ればこの版で行きたいと考えています。折りを入れると印刷費が高くなって、部数を減らさなければならぬ場合は、委員の皆さんに折って配っていただく事になりかねないと思うぐらいなのです。

団体委員 今日、決めなければいけないのはやはりこのマップというか、おおよそのものとかご意見いただくのは、この散策マップを目的とする、散策を目的にするマップであるかね、例えば空堀川散策マップみたいに、それからこっち側ですね、こっち側を読んでどうするのかどうなのか。

団体委員 中身は別のワーキングでもって検討したらどうかな。

事務局 タイトルというか、まず作る目的としてはですね、基本的に先ほどちょっと言いましたPR、柳瀬川・空堀川がどういうところであって、行ってみると面白いところがたくさんありますよと、川沿いにこういうところがあったり、アクセスするとしたらこういうふうに行かれますよとか、そういうふうにはまず出発点としてPRのためにこのパンフレットを作っていきたいと思っています。それでよろしいですかという事がまず1点目の確認事項になると思います。それから地図の方に行きますと、柳瀬川、本来この流域連絡会としては柳瀬川空堀川流域連絡会なのですが、どちらかという柳瀬川の合流点から上、上流の方、埼玉県の方についてはほとんど検討されていないんですね。そちらの方までマップを広げていくという事になりますと、レイアウトが変わってくるというのもなりますので、出来れば柳瀬川は合流点から下流の東京都区間、あとは空堀川というような事を主体にしてマップを作っていくという事でしょうか、というのが2点目になると思います。後はこの中身ですね、先ほど説明しました流域で活動している市民団体の紹介部分があったり、流域でこんなイベ

ントがあるというのを書くスペースをつくったらどうだろうか。後は河川整備計画のPR部分、あるいは各市の取組状況のコーナー、流域連絡会の活動記録というようなものを載せるページとか、こういう割り振りで良いのかどうかと。もっと他に折角だからこういうのも載せたらどうだろうかというご意見があれば紙面の関係がありますので、なかなか難しくなるかもしれませんが、出来るだけ載せられるものは検討するというような事もあっていいのかなと思っています。その辺のご意見をお聞きしたいと思います。

座長 ちょっといいですか。私、一点心配するのは市民団体の団員の名前、おまけに電話番号が書いてあるのですが、これは個人情報であるため、その点が気になるのです。

事務局 その辺は、最終案になりましたらやはり、確認をさせていただくという事になると思います。

団体委員 このイベントの赤字はなんですか。

座長 空堀川の川まつり祭りの部分ですね。

事務局 特に来てもらいたい、皆が楽しめる、何かメリハリをつけてもいいのかなと思った程度でそんな大意はないです。

団体委員 こんなのを修正していければとか、この字を赤字にしてくださいとか。

都民委員 市民センターの名前、これが正式ですか。

事務局 ちょっと調べてみます。

団体委員 そういう間違いみたいなものは一つ一つ。検討してかなり直さなければいけない部分がありますね。

事務局 そうですね。ありそうですね。

都民委員 またイベントで連絡先があるのにも数字が丸で囲まれています。イベントがどの辺で行われているのか、地図見てこのイベントはこの辺でやっているのならじゃあ行くのかなとか、そんな風に思うんですが。この地図だとどこでイベントが行われているのか解りにくいですね。

団体委員 この地図でもって川まつりと書いてありますね。番号を入れた方がいいと思うんですね。

座長 だからこの表の下、イベントの場所が地図上で判るようにするといった工夫が欲しいということですね。

団体委員 この団子みたいな芯が書いてある丸は何ですか。

事務局 これは散策ルート。まだ途中なのですが、例えば桜並木とか何かありますよね。これはだいたい市のホームページから見つけ出しているのですが、一応歩くというか散策マップという事なので、こういうルートがありますよというのをいろいろ伝えられればいいかなと。ちょっと凡例を赤い点で色分けしただけです。こういうのはすぐ変えられますので。

団体委員 そうですよ、清瀬なども東京都の雑木林の道だとかね、そういうもの、道づくりでも。

座長 では基本的にこのマップは皆様が川に親しんでもらうために、散策を楽しんでもらうための目的としたコンセプトのマップでよろしいですかね。

団体委員 そうですね。

団体委員 柳瀬川空堀川散策マップでいいんじゃないですかね。

座長 いま出た意見をふまえて、もうちょっと事務局で案をつくりましょう。

事務局 ええ。済みませんけれども、また何人かの皆さんに声をかけてマップのための打ち

合わせ会を、分科会とは別に開催させていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。今日のところはこういう準備をしていますと、初めての事なのであまり格好のいいのは出来ないかもしれませんが作って行きたいと思います。

座長 まず一步を踏み出すという事ですね。

事務局 という事でご了解いただきたいと思います。

団体委員 すごいですよね、今日もうこれだけ用意してくださるなんてすごいですよね。

都民委員 後はマナーをですね、何かどこかにちょこっと入れる、川との付き合い方を。そんなのをね、出来ればですけども。

団体委員 マナーをこの間入れてくださるとおっしゃったけれども、今日は間に合わなかったですね。

団体委員 空堀川の河川延長は15キロなんですか。14.何キロ云々、これが出来上がる頃は、どうですか。

事務局 いまの管理延長は旧の河川延長かもしれないですね。ただ新しい川の延長が完全に調べきっていないので古いままで行きたいと思います。

事務局 時間もだいぶ少なくなってまいりましたので、今後の予定の方を先に説明させていただきますまして、それから意見交換をしていただきたいと思います。スケジュール表を配っております。一応ですね、現在8月の下旬、今日が全体会という事で、第4期につきましては何時までを任期として活動するかというのがあります。第4期の第1回目の全体会をしたのが18年12月ですから、概ね2年という事になりますと今年の12月までが任期という事なのですが、委員の皆さんがもう少し長くてもいいとか短くした方がいいとか、ご意見があれば任期も概ね2年という事で対応が可能かなと思っています。事務局としては次回の全体会としてマップの完成、印刷が出来る頃の2月中旬ころに第4期の活動のまとめとして開催したらどうかと思っています。また第5期の委員の募集ということで、右の備考の方なのですが、市の広報に載せる関係がありますので、11月下旬ぐらいには各市に広報依頼の依頼文を出す必要があります。その後市で作業して、1月中旬ぐらいに委員募集文を市の広報に載せていただく。2月中旬ぐらいに作文の締め切りをしまして、その後集まった作文について選考作業に入る、選考委員は行政の内部なのですが、選考をさせていただきますまして3月中旬に委嘱という事で応募された皆さんに委嘱状をお配りするというスケジュールで考えています。また第5期の1回目の全体会につきましては、4月中旬以降にどうかというようなのが事務局の考えです。実を言いますとちょうど4月には職員の移動時期に当たりまして、なかなか3月下旬から4月中旬ごろまでは職員が落ち着かないというか、申し訳ないのですが作業がなかなか進まないという事があります。4月下旬から場合によっては5月になるかもしれませんが、第5期の第一回目の開催というスケジュールでいったらどうかかなと思っていますところ。次回の全体会をもう少し早めに関いたほうがいいのかですね、ご意見があればお聞きしたいと思います。併せて分科会、次回いつ頃開催するのがいいのか、その辺も意見交換していただければと思います。会場の予約とかありますので、決めていただきたい部分です。よろしくお願ひします。

座長 今事務局からお話がありました、皆さんこの時期についてはどうでしょうか。はい、どうぞ。

団体委員 全体には良いのではないかと思います、今度はマップの作成に力をいれていかな

ければならないと思うので、このマップ作成の検討会メンバーを選出していただい
ね、そしてこのスケジュールに乗せていった方がいいのではないかと思います。
それと平行して分科会をやりませんか。

事務局 分科会はちょっと間延びするかもしれないのですが、どういうふうにするの
がいいか。

団体委員 だからここでもってマップの作成の委員を選んでもらうか、日にちを決
めてそこに来れる人は集まって作業することでどうですか。

事務局 そうですね、ではまずマップの検討会というか、それをいつ頃開催しま
すか。受託者の方で何か準備の都合はありますか。

事務局(受託者) 取り合えず今日のたたき台で、もう少し具体的なイメージを皆
さんが持っていて、具体的な資料を用意していただいでそれを集約するとい
うのがいいかなと思うのですが、ですから皆さんがどれぐらいで、これ入れ
ようあれ入れようというものをご用意していただけるかですね。私どもの方
は早ければ早いほどいいかなと思います。早くて困る事は無いので早め早
めにどんどん、もし皆さんが可能なら集まっていたいで資料をまとめていき
たいと思います。

団体委員 この10月中旬のマップの原案作成までに2回か3回はやらないと煮
詰まらないですね。そうすると月に1回ずつやっても3回やらないと。

団体委員 具体的にね、例えば今日かなり写真は撮ってきてみたのですが、マ
ップに載せる、そうすると何で資料を寄せるのが一番、事務局さんとして
はイラストにし易い。

事務局 写真などあれば、事前にメールを送っていただいてもいいですし、
メールで送れるものであればメールでドンドン送ってもらえばいいです
ね。それで後は、見せ方のイメージは皆さん集まった時にこういうイメ
ージで扱って欲しいとか、こんなイメージのイラストにして欲しいとか
ですね。

事務局 では日にちを決めますか。

座長 では9、10、11月と1回ずつ決めて。

(日程調整)

事務局 日程調整結果につきましては、皆さんにお知らせは出すようにしま
す。一応分科会とは違いますので出欠は取りません。参加自由という事
でいきたいと思います。いろいろ資料を持ち寄っていただくとか作業
が出てくるかと思しますので、その辺はぜひご協力いただきたくと思
います。

団体委員 行政の方の意見は事務局に直接言ってもらうのですか。

事務局 そうですね。先ほど9月は17日で決まったのですが、最初は早
い方がいいですかね。出来れば出発をちょっと早めにしておきたいと思
います。すいません9月だけは出来れば1週間早めに開催したいと思
いますが如何でしょうか。

団体委員 10日か11日。

団体委員 どういう形で持って。CDに入れてくるとかフロッピーに入れて
くるとか。

事務局(受託者) 何でも大丈夫です。CDかUSBメモリーとか。あるいは
カメラごと持ってきていただいても。

事務局 分科会の開催はという日程にしますか。

都民委員 マップの検討会の9月は10日ですか。

事務局 すいません、9月10日か11日という事で行きたいと思
います。

都民委員 今日はどちらか決まらないんですね。

事務局 一応10日を第一希望にして進めます。会場の都合とかありま
すので申し訳ありま

せん。至急決めてご連絡いたします。分科会としてはどうですか、まとめ役の方。

団体委員 植栽をね、目安をだいたいつけて何とか行いたいですがね、10か11月あたりですか、全体会として木を1本でもいいから植栽させていただきませんか。

座長 場所を教えていただいて、それで近隣住民の了解を得られるという事であれば何本かは可能かなと考えていますが。

団体委員 後で打ち合わせをさせてもらえますか。

団体委員 皆で植えるの？

団体委員 皆で植えますよ。

団体委員 1人1本。

団体委員 1人1本ずつはとても無理ですから、3人で1本、4人で1本。

団体委員 はい、ではそちらの日にちを決めてください。

団体委員 それはおおよそで。では10月にするか、11月にしようとかか。

事務局 では申し訳ありませんが、分科会の開催日につきましては、まとめ役の方と調整して決めさせていただくという事でよろしいですか。

団体委員 木を植えさせていただけるという事だけは決定事項であれば、そこから地域に帰っていただいて、もう1度確認が残っていると思うのですが、どこへ植えるか検討しないといけないですね。

事務局 先ほどの河川環境分科会でのお話を聞いていなかったの、ちょっと内容を確認させていただきます。

団体委員 ごり押しではなくて、自然な形でまず1本でも植栽できるといいかなと思います。たくさん歩かせていただきましたので。

座長 では分科会でもう一度場所を確認してもらって。どんな樹木がいいか、連絡して頂いたうえでまたお話ししましょう。

団体委員 はい、では相談させていただいてそしてテーマを決めて。皆さんに連絡。

事務局 はい判りました。すいません時間が無くなってきました。意見交換の時間がなくなってしまいました済みません。

団体委員 ひとつだけいいでしょうか。9月26日、夜なのですが7時から清瀬の郷土資料博物館、志木街道のケヤキ通りのすぐ脇、市役所に向かって左側なのですが、清瀬市のホームページを開けていただくと地図が出ます、そこで十分に自動車が置けますので、神戸の萱場先生、萱場さんをお呼びして落差工の勉強会をします。ぜひ皆さんでご出席いただければありがたいと思います。

都民委員 26日の何時ですか。

団体委員 7時からです。金曜日だと思います。

座長 どなたをお呼びになったんですか。

団体委員 神戸の ーさん。

都民委員 そのマップなんです、もしできたら現在の空堀川だけではなくて、空堀川の旧川も入れていただけたらいいなと思うんです。蛇行していた旧川。

事務局(受託者) イラストになっちゃうのでどんな感じになるか、ちょっとどうなるかはまだ判りませんが、検討していきたいと思います。

都民委員 もう道路になってしまった部分とかね、あるのですが、もし入れられたら入れて頂きたいなと思っています、柳瀬川も。

事務局 受託者の さんちょっと工夫が出来るか検討してください。

座長 旧川については、入れる方向で進めた方がいよいと思いますが、ただ道路になってしまったものを入れると、かえって混乱しちゃうのかなという事にもなるので。

都民委員 でも何かそうするとね、何か昔の事をちょっと思い出す、思い出せる感じなのですが。

座長 検討させてください。

都民委員 あとは、いずれにしてもさっき任期の話が出て、終わりをどうするかという、それを提言という格好でまとめてみるのですかね、どういうふうにするのですかね。4期のまとめの部分はどういうふうに。マップはマップでいいんですよ、そのところがちょっとはっきりしなかった。

事務局 今までの1期から3期までの状況、私も詳しくは申し訳ないのですが調べてないんですよ、あまりまとめというのがなくて水量確保の分科会の皆さんについては提言をまとめていただいています。それ以外の期の終わりに、まとめ的な資料は残ってないんですね。

団体委員 やらなかった。

事務局 はい。だからまとめた方がいいというご意見があれば、どんなまとめ方をするのかというのがあると思うんです。無理にまとめる必要はないと思うのですが。第5期に向かってここまで終わっているので今後こういう検討をして欲しいとかですね、そういうような申し送り事項みたいな形でまとめていくのかとか、いろいろ方法はああると思うのですが。

座長 私が聞くのもへんですが、活動報告の資料はあるのですか。4期分の、一応集まってこんな事を検討しましたというものがあるのですか。

事務局 それは今後、マップの一番後ろみたいな感じで、いつ第何回の分科会をしました、その時にこんな話し合いをしましたぐらいの事は出来るかもしれませんが。分科会につきましては今日お配りしています議事要旨、A4版1枚ぐらいのものを各回作ってお配りしておりますので、それを残すという事になるかと思えます。

都民委員 やはり何らかの形で整理して残した方がいいと思います。提言で纏まるのだったら提言だし、申し送りだったら申し送り、そういう事で短くてもいいのですが、整理をして形としてはまとめた方がいいですね。

団体委員 結局この目的がね、話し合いの場という事で何か決めることではないというふうに言われたんですよ、そういうふうに出てある。だからやはり我々としてはね、ある程度成果を上げないと何もここに来た意味もないと、そういうかたちでもって最初の方は柳瀬川の整備計画とかそういう事について説明を受けてね、こういう事をしたらいいのではないかという事でまとめてきた訳です。これは分科会の意見が反映されていると思うんですよ。それから流量確保について提言をさせてもらおうと、それから今度は河川環境と水量確保について水循環に分けられたのだからこれはそれなりにまとめていってね、これはどういうふうに出てくるか解りませんが、行政委員さんも出ているのだから、こういう話を持ってきたよと、そういうものを残していかないと意味がないだろうと思うんです。

事務局 出来れば次回の分科会の時にその辺のまとめ方につきましてもまた分科会毎にご相談していただければどうかと思うのですが。

座長 いずれにしても何らかの形で報告というものをまとめたいと思っております。

事務局 事務局がまとめたいと言うより、委員の皆さんにまとめていただきたいという事で

お願いしたいと思います。事務局も私 1 人なものですから、ちょっとお願いと言われてもなかなか出来ない部分がありますので、よろしくお願い致します。時間配分が悪くて申し訳ありません。まだ意見交換の時間が欲しいのですが、時間になってしまいました。今回は一応これで終わりでよろしいでしょうか。

座 長 初めて出させていただきまして、全体像がつかめなくて不手際があった事をお許しください。いずれにしろ第 4 期、何らかのかたちでまとめて行きたいという事ですので、今後分科会が 1 回、全体会が 1 回、マップで何回かありますが、限られた時間になりましたが一生懸命皆さんと一緒に汗を拭きながらまとめていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願い致します。

事務局 最後に申し訳ありません。水量確保の今後の検討の資料の中で会社名を記載してしまいました。本来は載せてはいけなかったものなので、ここだけの資料に留めて、申し訳ありませんが削除しておいていただくと助かります。ではどうもありがとうございました。